

『新狛江市史 普及版』 目次（案）

第 1 章 原始・古代

- 1 狛江の地形の成り立ち
- 2 湧水を望む村の出現
- 3 稲作がはじまった頃の狛江
- 4 狛江古墳群の成立と展開
- 5 狛江郷と古代の集落

第 2 章 中世 武士たちの活躍と狛江

- 1 武蔵国の武士団と御家人狛江氏
- 2 南北朝・室町時代の狛江地域とその周辺
- 3 上杉氏と小田原北条氏のはざままで
- 4 小田原北条氏の支配と狛江地域の中世遺跡
- 5 中世から近世へ

第 3 章 近世 江戸時代の村と人々の暮らし

- 1 江戸時代の狛江市域
- 2 さまざまな領主と村の支配
- 3 江戸時代の河川と用水
- 4 村の暮らしと諸産業の展開
- 5 江戸近郊農村としての狛江の村々
- 6 新田開発と多摩川の水害
- 7 文化活動と庶民の旅

第 4 章 近代 狛江村の成立と村の近代化

- 1 狛江村の誕生
- 2 近代の教育と学校の設立
- 3 近代の戦争と狛江
- 4 狛江村の産業
- 5 幻の鉄道敷設計画と多摩川の砂利

- 6 京王電気軌道の開通と郊外観光地の整備
- 7 小田原急行鉄道の開通
- 8 太平洋戦争と村の生活
- 9 近代から現代の道路整備

## 第5章 現代 住宅都市狛江へ

- 1 村から町、そして市へ
- 2 狛江市内の学校
- 3 都市化のなかで一宅地化の進展と災害対策
- 4 都市化のなかで一公害と生活インフラの整備
- 5 地域のイベントと地域間交流
- 6 多摩川水害一戦後最大の洪水との闘い
- 7 小田急線の高架化と狛江駅北口の再開発